

2 公務災害の類型別の評価について

(1) 総合評価

番号	発生類型	発生 件数	発生 頻度	重症 割合	防止 容易度	目標
1	掲示物の掲示等の災害	22	B	A	A	ゼロに する
2	公用車のドア等の開閉時の災害	13	C	B	A	
3	行事の準備・後片付け中の机等による災害	16	C	B	A	
4	職場の施設内移動中の災害	71	A	A	A	
5	剪定・除草作業中の災害	21	B	B	A	
6	ポリッシャー、ワックスがけの災害	7	C	B	A	
7	病院での血液汚染事故	101	A	C	B	
8	調理業務中の災害	22	B	C	B	
9	出張中の現場での移動中の災害	42	B	A	B	ゼロに 近づけ る
10	オートバイ、自転車等による通勤災害	62	A	A	B	
11	ゴミ収集中の災害	15	C	C	B	
12	訓練中の災害	135	A	A	C	発生を 減らし 軽症化 させる
13	スポーツ活動中の災害	70	A	A	C	
14	動物や昆虫による災害	31	B	C	C	
15	故意の加害行為の災害	10	C	C	C	

(2) 発生頻度の基準

基準	評価
2年間で50件以上	A
2年間で20件以上50未満	B
2年間で20件未満	C

(3) 重症度の基準（「骨折、靭帯・腱損傷を重症としている。」）

発生類型	発生 件数	骨折	靭帯・ 腱損傷	計	割合 (%)	評価
掲示物の掲示等の災害	22	13	0	13	59.1	A
職場の施設内移動中の災害	71	39	1	40	56.3	A
訓練中の災害	135	51	22	73	54.1	A
オートバイ、自転車等での通勤災害	62	30	2	32	51.6	A
出張中の現場での移動中の災害	42	18	2	20	47.6	A
体育活動中の災害	68	23	8	31	45.6	A
公用車のドア開閉時の災害	13	4	0	4	30.8	B
剪定作業中の災害	21	6	0	6	28.6	B
ポリッシャー、ワックスがけの災害	7	2	0	2	28.6	B
行事の準備・後片付け中の机による災害	16	4	0	4	25.0	B
調理業務中の災害	22	1	2	3	13.6	C
ゴミ収集中の災害	15	2	0	2	13.3	C
故意の加害行為の災害	10	1	0	1	10.0	C
動物や昆虫による災害	21	0	0	0	0	C
病院での血液汚染事故	101	0	0	0	0	C
計	628	196	37	231	36.8	—

(4) 防止容易度の基準

1	一層の注意を払うことにより防止が可能か
2	ソフト面での整備や改善（ルールの徹底や手順の改善など）により防止が可能か
3	ハード面での整備や改善により防止が可能か
4	災害発生に自分以外の者の行動に影響を受けないものか
5	災害発生に制御不能なもの（動物・昆虫・環境等）の影響を受けないものか
上記項目すべてに該当するもの → A	
4又は5に該当しないもの → C	
それ以外 → B	

(5) 削減目標

下記の目標が達成すると → 公務災害・通勤災害の4割減
(H22 462件 → 263件へ)

区分	中期的な目標	削減目標件数
災害発生をゼロにするもの	ゼロを目標	△ 136件
災害発生をゼロに近づけるもの	半減を目標	△ 30件
災害発生を減らし軽症化を目指すもの	3割減を目標	△ 33件
計		△ 199件 (H22年度認定件数の462件の43.1%)